

トピックス1

お客さまのご要望に“より沿う”サービスと成長に向けた新たな取り組み

当社は、お客さまに信頼され、お選びいただけるよう、お客さまのご要望により沿うサービスのさらなる充実をはかるとともに、東北電力グループ一体となって成長に向けた新たな取り組みを進めてまいります。

1 ご家庭のお客さま向けの料金プラン・サービスの充実

当社は、ご家庭のお客さまから引き続き当社をお選びいただけるよう、お客さまのライフスタイルに合わせた様々な料金プランをご用意しております。今年4月には、新たな料金プランとして、二世帯、三世帯同居などでご家族が日中在宅されている機会が多く、電気のご使用量が比較的多いお客さまなどにおすすめのプラン、「よりそうプラスファミリーバリュー」のご提供を開始するとともに、お得なセットプランもご用意させていただきました。

また、会員制Webサービス「よりそうeねっと」についても、7月より、新サービス「よりそう継続ポイント」や、新コンテンツ「ご当地たべあるきグルメすごろく」を開始するなど、サービスの充実をはかっております。

今後も、お客さまのご要望やご意見を伺いながら、魅力ある料金プランやサービスの開発・充実に取り組んでまいります。

■お得なセットプランの概要

よりそう^{プラス}ファミリーバリューだけの おトクなセットプラン



カメイおよびカメイ提携販売店のLPガスとのおトクなセットプラン



NTTコミュニケーションズの光インターネットサービス「OCN光」とのおトクなセットプラン



ホームセキュリティ、高齢者みまもりサポート、まもるっく(モバイルみまもりセキュリティ)とのおトクなセットプラン



ホームセキュリティや、マイドクタープラス(高齢者みまもり)、コココム(持ち歩けるセキュリティ端末)とのおトクなセットプラン

■「よりそうeねっと」のサービス充実

継続ご契約特典

よりそう 継続ポイント

対象プランのご契約情報登録で

(継続4年目以降毎月50ポイント)

よりそうeポイントが**継続するほど貯まる!**

1日2回サイコロを振ってゴールを目指そう!



1位でゴールすれば
よりそうeポイント
1000ポイントプレゼント



お客さまのニーズにより沿う料金プラン・サービスをご提案

2 法人のお客さまのニーズにお応えするトータルエネルギーソリューションの強化

当社は、工場や病院・福祉施設、学校関連施設、農業施設など、様々な分野の法人のお客さまに対し、専任対応スタッフが中心となり、省エネやコスト低減につながる提案活動を展開しております。

今年4月には、グループ企業である東北エネルギーサービス株式会社（以下「東北ESCO」）を完全子会社化することで、当社がご提供するエネルギー（電気・ガス）と東北ESCOによるエネルギーマネジメントシステム・設備受託サービスなどを組み合わせたご提案を行うなど、トータルエネルギーソリューションの一層の強化をはかりました。

当社は、今後も東北電力グループ全体の総力をあげて、お客さまのエネルギー利用形態に応じた各種サービスの充実に努めてまいります。



専任対応スタッフによるお客さま設備の省エネ診断

3 「東北電力エナジートレーディング株式会社」の設立

当社は、電力の小売全面自由化の進展による市場取引の拡大などを見据え、新たな事業機会を積極的に追求し、将来の成長・発展につなげていくため、今年6月、「東北電力エナジートレーディング株式会社」を設立いたしました。同社では、電力取引市場や燃料先物を活用し、リスクの抑制や収益力の強化を目指して、平成30年4月より事業を開始する予定です。

今後、同社による積極的な市場取引を通じて、取引のスキルやノウハウなどを獲得・蓄積していくとともに、収益力のさらなる強化をはかり、将来の成長・発展につなげてまいります。

■「東北電力エナジートレーディング株式会社」の事業イメージ



当社は、競争に打ち勝ち、地域の復興・発展を支える低廉で安定した電力を供給するため、多様なエネルギーをバランスよく組み合わせさせた最適な電源構成の実現に向けて取り組んでおります。

1 新仙台火力発電所リプレースプロジェクトのエジソン賞の受賞

当社は、経年化が進んだ新仙台火力発電所の1,2号機を廃止し、新たに3号系列（昨年7月全量営業運転開始）を建設したリプレースプロジェクトにおいて、今年6月、アメリカのエジソン電気協会より「エジソン賞」を受賞いたしました。この受賞は、地域社会と共生したプロジェクトの推進や環境性能・防災対策に優れた高効率発電設備の開発などの取り組みが、電力業界全体の発展に資するものであると評価されたものです。

当社の受賞は、平成23年の「仙台火力発電所4号機の環境に配慮したリプレース」に続くものであり、2度目の受賞は日本企業としては初めてとなります。

■エジソン賞

電力業界発展のための卓越した指導力・革新性・貢献への顕彰を目的とするもので、エジソン電気協会（アメリカの電力会社を中心に約300社の電気事業者が加盟する世界的な団体）の表彰のなかで最も権威のある賞とされています。



新仙台火力発電所



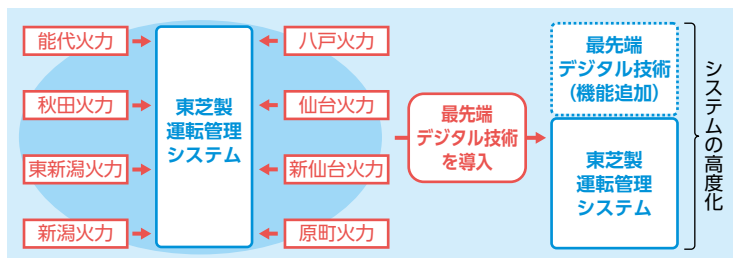
記念のエジソン像を手にする当社樋口常務（左）

2 最先端デジタル技術の導入による火力発電所の運用効率向上に向けた取り組み

当社と株式会社東芝は、火力発電所のさらなる運用効率向上を目的に、ビッグデータ分析やIoTなど、最先端デジタル技術の導入に向けた検証を共同で実施することといたしました。

平成29年度末までに検証を行い、その結果を踏まえて、今後、具体的なシステム構築や実証試験を行うとともに、平成31年度中の当社全ての火力発電所への適用を目指してまいります。

■最先端デジタル技術の導入によるシステム高度化のイメージ



【検証項目1】

設備の異常兆候を早期に検知する手法の検証
(ビッグデータ分析技術の活用)

【検証項目2】

運転条件の変更による熱効率向上効果の検証
(IoT 技術の活用)

3 原子力発電所の「安全」と「安心」に向けた取り組み

当社は、新規制基準適合性審査への対応とともに、同基準や最新の知見を踏まえた安全対策工事に取り組んでおり、女川原子力発電所2号機については平成30年度後半、東通原子力発電所1号機については平成31年度の工事完了を目指しております。引き続き、安全確保を最優先に工事を進めるとともに、地域のみなさまのご理解をいただきながら、工事完了後、準備が整った段階での再稼働を目指してまいります。

新規制基準適合性審査への対応・安全対策工事の進捗状況

当社は、新規制基準への適合性審査に的確に対応してきており、女川原子力発電所2号機の「地震・津波」の審査では、基準津波、火山事象などに加え、今年8月には審査上の鍵とも言える基準地震動に対しても「概ね妥当な検討がなされている」との評価をいただくなど、審査は着実に進捗していると考えております。また、東通原子力発電所1号機については、敷地内断層の活動性に係る審査に対応しており、引き続き、敷地内断層に活動性がないとの当社評価について説明を尽くしていくこととしております。

安全対策工事についても、防潮堤かさ上げ工事（女川）や非常時に原子炉を冷却する水源を確保するための淡水貯水槽設置工事（女川・東通）、原子炉格納容器の圧力を逃がす際に放射性物質の拡散を抑制するフィルター装置の設置工事（女川・東通）など、最新の知見を適宜設計に反映させながら着実に進めております。



海拔約29m、全長800mにおよぶ
防潮堤かさ上げ工事（女川原子力発電所）

地域のみなさまとのコミュニケーション活動

当社は、原子力事業者として業務を運営していくうえで、双方向のコミュニケーションを通じて地域のみなさまの声を聞くことが不可欠であると考えており、女川・東通の両原子力発電所では、年2回、発電所員が地域のみなさまのご家庭を一軒一軒訪問する活動を継続して行っております。

今年6月には、女川原子力発電所で約3,900世帯（女川町と石巻市牡鹿半島部）、東通原子力発電所で約2,300世帯（東通村）のご家庭を訪問し、発電所に関する情報をお知らせするとともに、地域のみなさまからの貴重なご意見を直接お伺いいたしました。

今後も、こうした活動を通じて、地域のみなさまからの信頼をいただけるよう努めてまいります。



東通村での全戸訪問活動

当社は、低炭素社会の実現に向けて、東北地域に適地の多い再生可能エネルギーの有効利用をはかるとともに、新たな研究開発にも積極的に取り組んでまいります。

1 鹿瀬発電所の営業運転再開 ～水力発電所の大規模改修工事が完了～

当社は、今年9月、鹿瀬発電所（最大出力54,200kW）の大規模改修工事を完了し、営業運転を再開いたしました。

ダム式の水力発電所である鹿瀬発電所は、昭和3年の運転開始から約80年が経過し、経年による老朽化が進行していたことから、継続して水資源を有効活用するため、平成23年から改修工事を進めてきたものであり、発電効率の高い水車（バルブ水車*）を採用することで、使用水量を変えることなく最大出力を増加（49,500kW⇒54,200kW）させております。

* 採用した水車はバルブ水車の立軸機で、富士電機株式会社と当社が共同で開発したものです。
（平成14年6月に営業運転を開始した当社第二上野尻発電所において世界で初めて採用）



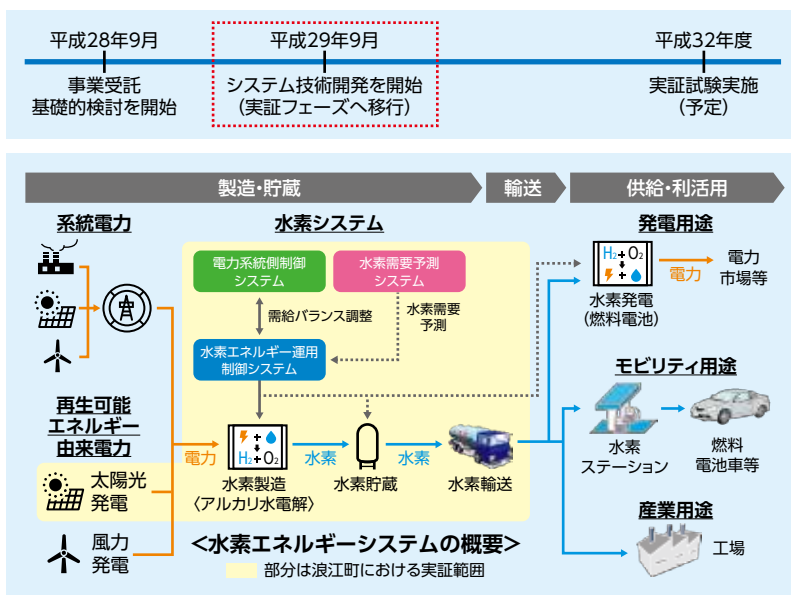
鹿瀬発電所（新潟県東蒲原郡阿賀町）

2 大規模水素エネルギーシステムの開発 ～実証フェーズへの移行～

当社は、株式会社東芝および岩谷産業株式会社と共同で受託していた、NEDO*の「水素社会構築技術開発事業」について、今年9月、これまでの基礎的検討からシステム技術開発（実証フェーズ）へ移行し、再生可能エネルギーを利用した大規模水素エネルギーシステムの共同開発を開始いたしました。

今後、福島県浪江町を実証エリアとして1万kW級の水素製造装置を備えた水素エネルギーシステムを構築し、平成32年度に実証試験を行う予定としております。

*NEDO：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構



トピックス4 地域の復興・発展への貢献

当社は、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という創立当初から変わらない基本的な考え方のもと、地域の抱える課題の解決や地域活性化の応援を行う「地域貢献・活性化支援策」に取り組んでまいります。

1 岩手県・秋田県・山形県との新たな電力供給ブランドの設立

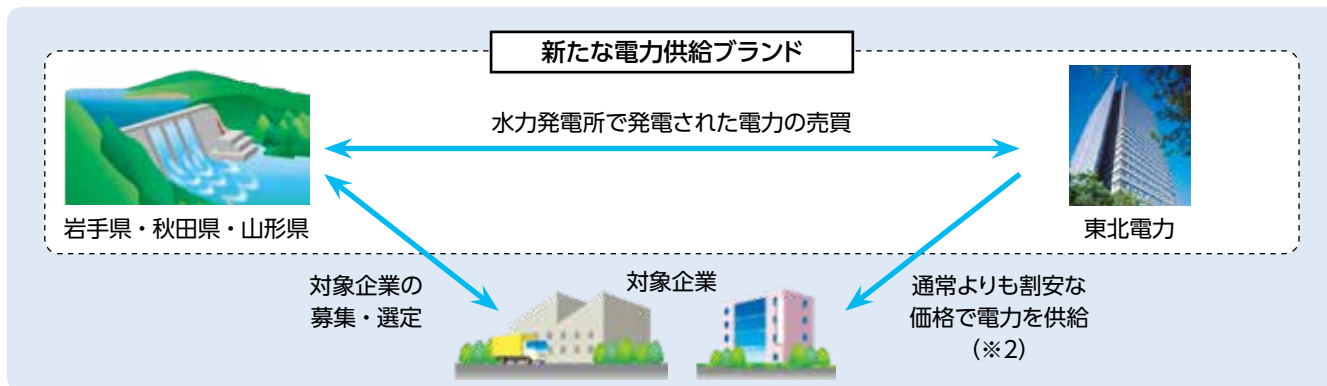
当社は、岩手県、秋田県および山形県と、各県が運営する公営水力発電所で発電された電力を活用した、新たな電力供給ブランドを設立することといたしました。平成30年4月より、各県の運営する公営水力発電所から購入した電力量相当を上限として、各県の電力供給ブランドの要件に該当する企業等に対し、通常の電気料金よりも割安な価格で電力を供給することとしております。

当社は、今回の取り組みを通じて、東日本大震災により被災した地域の復興・産業の活性化に貢献してまいります。

■岩手県・秋田県・山形県と設立する電力供給ブランド

	岩手県	秋田県	山形県
ブランド名	いわて復興パワー	あきたEネ!	やまがた希望創造パワー
割引率(※1)	一律 5%	一律 5%	新規立地・経営拡大企業 6% 既存中小企業等 4%

■新たな電力供給ブランドのスキームイメージ



※1：割引率については、高圧で電気を供給させていただく場合の一般的な電気料金メニューにおける電力量料金からの割引率となります。

※2：本ブランドの電力は、東北電力の電力系統を通じて送電されるため、岩手県、秋田県および山形県の水力発電所で発電された電力に限定されるものではありません。

2 福島県との包括連携協定の締結

今年7月、福島県と当社は包括連携協定を締結いたしました。この協定は、福島県と当社が互いに連携・協力しながら、地域の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、東日本大震災からの復興および地域の活性化をはかることを目的としています。

当社では、福島県の復興・発展に向けて福島支店を中心に、福島県内の各事業所が地域のみなさまのご理解とご協力をいただきながら、無線鉄塔のライトアップや街路灯寄贈、海岸防災林の植樹活動、地域の見守り活動へのご協力など、様々な活動を展開してきました。この協定に基づき、従来の取り組みの実効性をより高めるとともに、営業所窓口への福島県の広報誌の掲示などによる県政情報の発信や、施設見学を通じた福島県の観光地への誘導などに継続的に取り組んでまいります。

福島県との包括連携協定の概要

1. 東日本大震災からの復興に関すること
2. 産業の振興に関すること
3. 観光及び県産品の振興等に関すること
4. 災害対策及び地域の安全に関すること
5. 食育・健康増進に関すること
6. 子ども・青少年育成に関すること
7. エネルギー・環境に関すること
8. その他、地域の活性化等に関すること



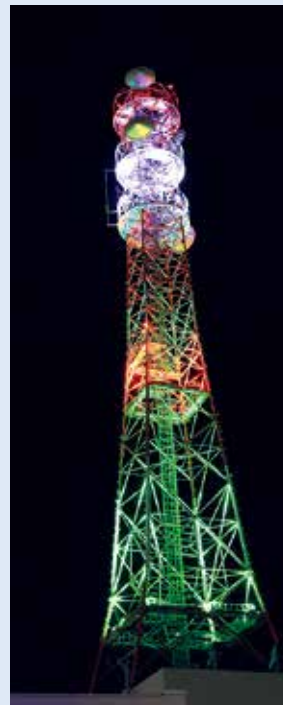
協定書を手にする内堀福島県知事(右)と
当社原田社長(左)



浪江町における街路灯寄贈



相馬市における海岸防災林の植樹活動



福島営業所構内
無線鉄塔のライトアップ